

四半期報告書

(第66期第1四半期)

小野薬品工業株式会社

E 0 0 9 4 5

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

小野薬品工業株式会社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	8
1 【株式等の状況】	8
2 【役員の状況】	9
第4 【経理の状況】	10
1 【四半期連結財務諸表】	11
2 【その他】	17
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	18

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【四半期会計期間】 第66期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 小野薬品工業株式会社

【英訳名】 ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 相 良 暁

【本店の所在の場所】 大阪市中央区道修町二丁目1番5号
(上記所在の場所は、登記簿上の本店所在地であり、事実上の本社業務は、大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号において行っております。)

【電話番号】 大阪(06)6263局5670番

【事務連絡者氏名】 経理部長 伊 藤 雅 樹

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田須田町二丁目5番地

【電話番号】 東京(03)5296局3711番

【事務連絡者氏名】 東京第一支店 業務室長 大 野 義 和

【縦覧に供する場所】 小野薬品工業株式会社東京支社
(東京都千代田区神田須田町二丁目5番地)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第65期 第1四半期 連結累計期間	第66期 第1四半期 連結累計期間	第65期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	37,652	37,909	145,393
経常利益 (百万円)	13,156	9,354	33,953
四半期(当期)純利益 (百万円)	8,421	6,471	24,120
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	5,167	6,997	41,424
純資産額 (百万円)	396,582	420,739	423,290
総資産額 (百万円)	432,162	454,574	455,572
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	79.43	61.04	227.51
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	91.0	91.8	92.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

・技術導入契約等

会社名	契約先	所在地	契約内容	対価の支払	契約締結年及び契約期間
当社	Bial社	ポルトガル	BIA9-1067 (Opicapone) に関する技術	契約一時金	2013.4より、データ保護期間又は特許有効期間のいずれか長い方

・技術導出契約等

会社名	契約先	所在地	契約内容	対価の支払	契約締結年及び契約期間
当社	住友制药(蘇州)有限公司	中国	リマプロスト アルファデクスに関する技術	契約一時金	2013.5より30年間

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における業績につきましては、以下の通りとなりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	37,652	37,909	+257	+0.7
営業利益	12,079	8,122	△3,957	△32.8
経常利益	13,156	9,354	△3,802	△28.9
四半期純利益	8,421	6,471	△1,950	△23.2

・売上の状況

長期収載品が競合品や後発品使用促進策の影響を受けて減少となったものの、主要新製品が引き続き売上を伸ばしました。

主要新製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は9億円（10.8%）増加の96億円、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」は10億円（61.8%）増加の26億円、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は8億円（133.2%）増加の14億円と着実に売上を伸ばしています。

主な長期収載品では、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は4億円（4.6%）減少の86億円、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は8億円（18.2%）減少の34億円、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」は5億円（19.1%）減少の20億円となりました。

これらの結果、売上高は2億5千7百万円（0.7%）増加の379億9百万円となりました。

・損益の状況

売上は増加して売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は39億5千7百万円（32.8%）減少の81億2千2百万円、経常利益は38億2百万円（28.9%）減少の93億5千4百万円となりました。

販売費及び一般管理費では、ライセンス費用の増加などから研究開発費が31億8千2百万円（33.3%）増加の127億2千7百万円、コンピュータ関連投資の増加などから研究開発費を除く販売費及び一般管理費が10億4千1百万円（13.7%）増加の86億2千7百万円となり、販売費及び一般管理費全体では42億2千4百万円（24.7%）増加の213億5千4百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券評価損の減少などから損益が2億1千8百万円改善し、また税金費用も16億2千8百万円減少しました。

これらの結果、四半期純利益は19億5千万円（23.2%）減少の64億7千1百万円となりました。

なお、当社及び関係会社の事業は医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（2）財政状態の分析

（単位：百万円）

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	455,572	454,574	△998
純資産	423,290	420,739	△2,551
自己資本比率	92.2%	91.8%	—
1株当たり純資産	3,961.55円	3,937.19円	△24.36円

総資産は9億9千8百万円減少して4,545億7千4百万円となりました。

流動資産は、有価証券の減少等により32億5千7百万円減少したものの、固定資産は、投資有価証券の増加等により22億5千8百万円増加しました。

負債は、15億5千3百万円増加して338億3千5百万円となりました。

純資産は、25億5千1百万円減少して4,207億3千9百万円となりました。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は127億2千7百万円であります。

なお、開発品の進捗状況については以下の通りです。

開発品の主な進捗状況（平成25年8月2日現在）

1. 国内開発品状況

<承認取得開発品>

製品名／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	剤型	
オレンシア皮下注※1 (ONO-4164SC) /BMS-188667SC	剤型追加	関節リウマチ ／T細胞活性化抑制作用	注射	共同 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社)
グラクティブ錠25mg※2 (ONO-5435) /MK-0431	剤型変更	重度腎機能障害のある患者への投与 ／DPP-4阻害作用	錠	共同 (米メルク社)

平成25年3月期決算発表（平成25年5月13日）時点からの変更点

※1：関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は、皮下投与での剤型追加の製造販売承認を取得しました。

※2：「グラクティブ錠25mg (ONO-5435) /MK-0431」は、シタグリプチンとして12.5mg1日1回が投与可能な製剤（割線錠）が承認され、重度腎機能障害のある患者、血液透析又は腹膜透析を要する末期腎不全の患者についても投与が可能になりました。

<申請中開発品>

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	剤型	
グラクティブ錠12.5mg (ONO-5435) /MK-0431	剤型追加	重度腎機能障害のある患者への投与 ／DPP-4阻害作用	錠	共同 (米メルク社)
注射用オノアクト50 (ONO-1101)	効能追加	心機能低下例における頻脈性不整脈 ／β ₁ 遮断作用（短時間作用型）	注射	自社

<臨床試験中開発品>

製品名／製品名候補 ／開発コード／一般名	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
グラクティブ錠 (ONO-5435) /MK-0431	効能追加	2型糖尿病（速効型インスリン分泌促進 薬との併用療法） ／DPP-4阻害作用	Ⅲ	錠	共同 (米メルク社)
グラクティブ・ メトホルミン配合錠 (ONO-5435A) /MK-0431A	新医療用 配合剤	2型糖尿病／DPP-4阻害作用及び肝 糖新生抑制作用・インスリン抵抗性改善 作用	Ⅲ	錠	共同 (米メルク社)
プロイメンド点滴静注用 (ONO-7847) /MK-0517	小児での 効能追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 ／ニューロキニン1受容体拮抗作用	Ⅲ	注射	導入 (米メルク社)
リバスタッチパッチ (ONO-2540) /ENA713D	用法変更	アルツハイマー型認知症 ／コリンエステラーゼ阻害作用	Ⅲ	経皮 吸収剤	共同 (ノバルティス社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	腎細胞がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅲ	注射	自社
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164IV) /BMS-188667IV	効能追加	若年性特発性関節炎 ／T細胞活性化抑制作用	Ⅲ	注射	共同 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社)

製品名／製品名候補 ／開発コード／一般名	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164IV) /BMS-188667IV	効能追加	ループス腎炎 ／T細胞活性化抑制作用	Ⅲ	注射	共同 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-2745 /CNS 7056	新有効成分	全身麻酔／GABA _A 受容体作動作用 (短時間作用型)	Ⅱ/Ⅲ	注射	導入 (パイオン社)
ONO-7165 /EMD531444	新有効成分	非小細胞肺がん ／腫瘍抗原MUC-1由来ペプチドワクチン	Ⅱ	注射	共同 (独メルク社)
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症／S1P受容体作動作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-3849 /Methylnaltrexone bromide	新有効成分	オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘 ／μオピオイド受容体拮抗作用	Ⅱ	注射	導入 (プロジェニックス社)
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質／グレリン様作用	Ⅱ	錠	導入 (ヘルシン社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	悪性黒色腫 ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅱ	注射	自社
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	非小細胞肺がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅱ	注射	自社
ONO-7057 /Carfilzomib	新有効成分	多発性骨髄腫 ／プロテアソーム阻害作用	Ⅰ/Ⅱ	注射	導入 (オニキス社)
ONO-5163 /AMG-416	新有効成分	二次性副甲状腺機能亢進症 ／カルシウム受容体作動作用	Ⅰ/Ⅱ	注射	導入 (アムジェン社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	Ⅰ	錠	自社
ONO-7056 /Salirasib	新有効成分	固形がん／Rasシグナル阻害作用	Ⅰ	錠	導入 (カドモン社)
ONO-7268MX1	新有効成分	肝細胞がん／ペプチドワクチン	Ⅰ	注射	導入 (オンコセラビー社)
ONO-1162 /Ivabradine	新有効成分	慢性心不全／I fチャネル阻害作用	Ⅰ	錠	導入 (セルヴィエ社)
ONO-2160/CD	新有効成分	パーキンソン病 ／レボドパブプロドラッグ	Ⅰ	錠	自社

平成25年3月期決算発表（平成25年5月13日）時点からの変更点

※：ONO-2745は、ICU鎮静を対象としたフェーズⅡ試験を実施していましたが、長期投与時の薬物動態特性を踏まえて、試験を中止しました。

2. 国外開発品状況

< 臨床試験中開発品 >

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	腎細胞がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅲ	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	非小細胞肺がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅲ	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	悪性黒色腫 ／完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅲ	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)

製品名／製品名候補 ／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	フェーズ	剤型	
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症／S1P受容体作動作用	II	錠	導出 (独メルク社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	II	錠	自社
ONO-4053	新有効成分	アレルギー性鼻炎 ／プロスタグランディンD2受容体拮抗 作用	II	錠	自社
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群／TSPO (トランスロケータープロテイン) 拮抗作用	II	錠	自社
ONO-8539	新有効成分	胃食道逆流症／プロスタグランディン受 容体 (EP1) 拮抗作用	I	錠	自社
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	C型肝炎 ／完全ヒト型抗PD-1抗体	I	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-7746	新有効成分	血小板減少症 ／トロンボポエチン受容体作動作用	I	カプセル	導入 (日産化学工業)
ONO-9054	新有効成分	緑内障・高眼圧症／プロスタグランディ ン受容体 (FP/EP3) 作動作用	I	点眼	自社
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	I	錠	自社
ONO-8055	新有効成分	低活動膀胱／プロスタグランディン受容 体 (EP2/EP3) 作動作用	I	錠	自社
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	血液がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	I	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558	新有効成分	肝細胞がん ／完全ヒト型抗PD-1抗体	I	注射	導出 (ブリistol・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-1266※3	新有効成分	門脈圧亢進症／S1P受容体拮抗作用	I	カプセル	自社

平成25年3月期決算発表（平成25年5月13日）時点からの変更点

※3：S1P受容体拮抗剤である「ONO-1266」は、門脈圧亢進症を対象としたフェーズI試験を開始しまし
た。

(5) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は次の通りです。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	投資予定金額		資金調 達方法	着手予定 年月	完了予定 年月
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)			
当社	横浜支店 (神奈川県横浜 市港北区)	医薬品事業	営業拠点	1,757	941	自己 資金	平成25年 12月	平成27年 1月

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	117,847,500	117,847,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株
計	117,847,500	117,847,500	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年6月30日	—	117,847,500	—	17,358	—	17,002

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 11,819,100	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 105,905,200	1,059,052	—
単元未満株式	普通株式 123,200	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	117,847,500	—	—
総株主の議決権	—	1,059,052	—

② 【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 小野薬品工業株式会社	大阪府中央区道修町 二丁目1番5号	11,819,100	—	11,819,100	10.02
計	—	11,819,100	—	11,819,100	10.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,261	23,446
受取手形及び売掛金	37,822	43,515
有価証券	105,877	94,828
商品及び製品	16,094	15,094
仕掛品	4,122	6,554
原材料及び貯蔵品	3,192	3,270
その他	23,377	24,781
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	214,741	211,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	66,933	67,044
減価償却累計額	△45,153	△45,497
建物及び構築物（純額）	21,780	21,547
機械装置及び運搬具	16,545	16,600
減価償却累計額	△14,556	△14,687
機械装置及び運搬具（純額）	1,988	1,913
土地	23,479	23,479
建設仮勘定	1,437	2,083
その他	9,830	9,747
減価償却累計額	△8,886	△8,858
その他（純額）	943	889
有形固定資産合計	49,630	49,912
無形固定資産		
その他	1,383	1,713
無形固定資産合計	1,383	1,713
投資その他の資産		
投資有価証券	180,200	181,826
その他	9,624	9,645
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	189,817	191,464
固定資産合計	240,830	243,089
資産合計	455,572	454,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243	4,118
1年内返済予定の長期借入金	101	101
未払法人税等	5,606	2,672
引当金	5,838	3,555
その他	9,996	16,946
流動負債合計	25,786	27,394
固定負債		
長期借入金	134	109
退職給付引当金	1,008	1,047
その他の引当金	98	101
資産除去債務	54	54
その他	5,198	5,126
固定負債合計	6,495	6,440
負債合計	32,281	33,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,079	17,079
利益剰余金	430,824	427,754
自己株式	△59,214	△59,218
株主資本合計	406,048	402,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,451	22,743
繰延ヘッジ損益	—	49
土地再評価差額金	△8,577	△8,577
為替換算調整勘定	67	215
その他の包括利益累計額合計	13,940	14,430
少数株主持分	3,301	3,334
純資産合計	423,290	420,739
負債純資産合計	455,572	454,574

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	※ 37,652	※ 37,909
売上原価	※ 8,442	※ 8,432
売上総利益	29,209	29,477
販売費及び一般管理費		
研究開発費	9,544	12,727
その他	7,585	8,627
販売費及び一般管理費合計	17,129	21,354
営業利益	12,079	8,122
営業外収益		
受取利息	228	152
受取配当金	976	1,175
その他	51	176
営業外収益合計	1,255	1,504
営業外費用		
寄付金	69	203
為替差損	83	—
その他	27	68
営業外費用合計	179	272
経常利益	13,156	9,354
特別利益		
投資有価証券売却益	80	—
特別利益合計	80	—
特別損失		
投資有価証券評価損	414	115
特別損失合計	414	115
税金等調整前四半期純利益	12,822	9,239
法人税等	4,360	2,731
少数株主損益調整前四半期純利益	8,461	6,507
少数株主利益	40	35
四半期純利益	8,421	6,471

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,461	6,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,176	293
繰延ヘッジ損益	△20	49
為替換算調整勘定	△96	148
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△3,293	490
四半期包括利益	5,167	6,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,125	6,961
少数株主に係る四半期包括利益	42	36

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※売上高及び売上原価に含まれる原薬中間体取引高は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
原薬中間体取引高	868百万円	610百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	657百万円	653百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	79円43銭	61円04銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	8,421	6,471
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	8,421	6,471
普通株式の期中平均株式数(株)	106,018,218	106,016,125

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 6 日

小野薬品工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 新 免 和 久 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 見 勝 文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小野薬品工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小野薬品工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【会社名】 小野薬品工業株式会社

【英訳名】 ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 相 良 暁

【最高財務責任者の役職氏名】 該当なし

【本店の所在の場所】 大阪市中央区道修町二丁目1番5号
(上記所在の場所は、登記簿上の本店所在地であり、事実上の本社業務は、大阪市中央区久太郎町一丁目8番2号において行っております。)

【縦覧に供する場所】 小野薬品工業株式会社東京支社
(東京都千代田区神田須田町二丁目5番地)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 相良 暁は、当社の第66期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。